

---

# 兵庫県のオープンデータ推進の取組

2019.10 兵庫県 情報企画課

# 要旨

---

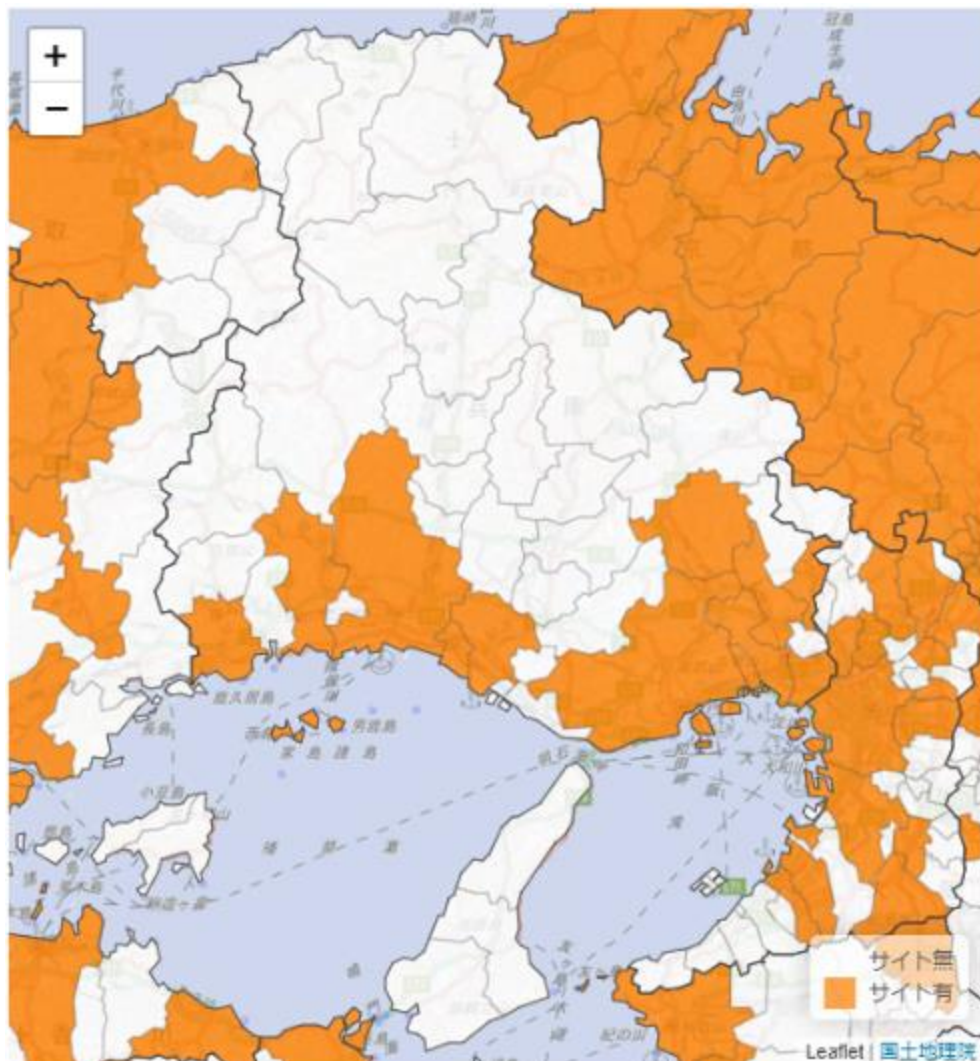
- 1 兵庫県内自治体の現状
- 2 ひょうご・データ利活用プラン策定
- 3 情報部門の取組

# 1 兵庫県内自治体の現状

県及び12市が公開。オープンデータの実組率 31%

全国自治体の実組率 33% (595/1,788自治体) をわずかに下回る

※令和元年6月17日時点



## 取組市町一覧

神戸市	姫路市	尼崎市	西宮市
芦屋市	加古川市	赤穂市	宝塚市
高砂市	川西市	三田市	たつの市

## 【参考】関西2府4県の実況

※自治体数は府県を含む

都道府県名	総自治体数	取組済自治体数	取組率
京都府	27	27	100%
大阪府	44	16	36%
兵庫県	42	13	31%
滋賀県	20	5	25%
奈良県	40	8	20%
和歌山県	31	4	13%

## 2 ひょうご・データ利活用プラン策定

2019年4月「ひょうご・データ利活用プラン」を策定。4つの重点方針のひとつ「未来を創る ～イノベーションの創出～」の取組として「データのオープン化」を掲げる

### 1. 位置づけ

- ・「兵庫2030年の展望」がめざす「すこやか兵庫」の実現に向けたICTとデータ利活用の指針
- ・民・産・学・官が、ICTとデータ利活用の方向性を共有するビジョン
- ・「官民データ活用推進基本法」に基づく県の官民データ活用推進計画

### 2. 4つの重点方針

- ① **未来を創る ～イノベーションの創出～**  
イノベーションにより、産業力強化と社会システム変革の好循環を実現し、未来を創る、**新たな価値を創出**します。
- ② 活力を高める ～パフォーマンスの向上～
- ③ デジタル社会を支える ～基盤の強化～
- ④ スマート自治体をめざす～デジタル行政の推進～

### 3. 本文抜粋

『オープンにデータを公開することで、誰もが二次利用できる円滑なデータ流通を促進します。特に利用ニーズの高いデータについては、容易に利活用できるよう、機械判読可能なファイル形式や共通フォーマットでの公開に取り組みます。』

#### 例えば、県の情報企画課では…

オープンデータをとりまとめたページ運営 等



253データセット

(令和元年10月現在)

- － AED設置場所
- － 犯罪発生状況
- － CGハザードマップの地図データ

### 3 情報部門の取組

---

オープンデータあるある

理念はあれども、推進はなかなか困難…

事業課にオープンデータの公開をお願いしても…

①そもそも、オープンデータって何？

②忙しいから、対応は難しい…

③実際にオープンデータに効果はあるの？

### 3 情報部門の取組

---

#### ①そもそも、オープンデータって何？

→ 本研修等、理解していただける取組

#### ②忙しいから、対応は難しい…

#### ③実際にオープンデータに効果はあるの？

→ オープンデータワーキンググループの取組

### 3 情報部門の取組(オープンデータワーキンググループ)

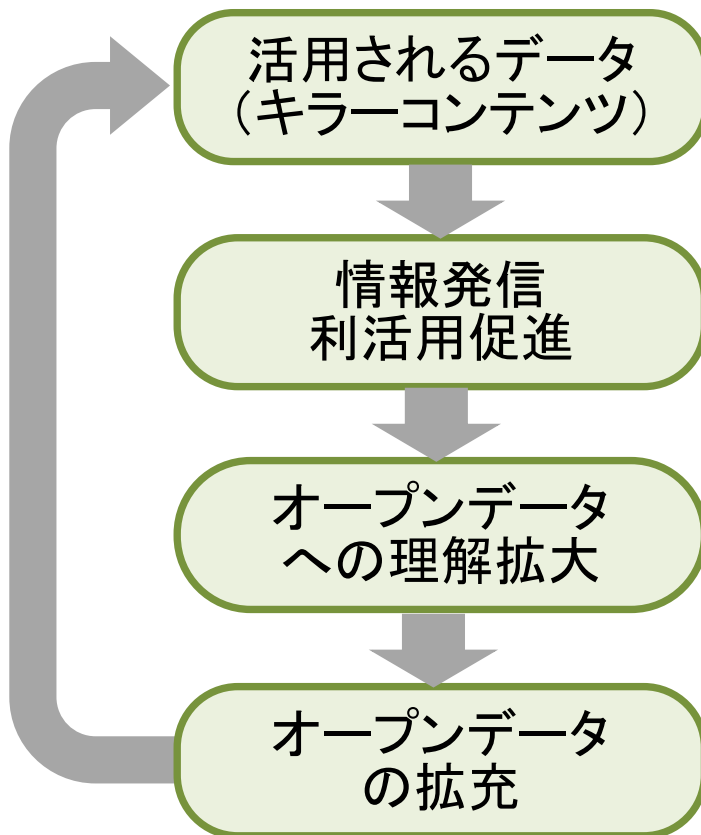
オープンデータ推進の課題や方策を、県と15市町が参画し意見交換・試行錯誤

平成30年度より、県及び15市

(県、神戸市、姫路市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、  
赤穂市、宝塚市、高砂市、川西市、三田市、加西市、たつの市、太子町)

#### 【目標】

好循環を生み出す事例の創出



#### 【これまでの取組】

##### 1 課題意識・知恵の共有

- ① どうすれば効率的に公開・更新できるか  
→ 各団体の運用方法・工夫を共有
- ② データを公開しても活用されないと辛い  
→ 有識者から活用事例を聴取  
→ 共通フォーマットでの公開をめざす

##### 2 トライアルで共通データを公開

- ① 共通フォーマットでのデータセット公開  
(図書館の住所、開館時間等)
- ② トライアルを通じた気づきの共有  
→ データ保有課との調整に情報部門が一手間  
→ 位置情報の提供は緯度経度の取得が鍵



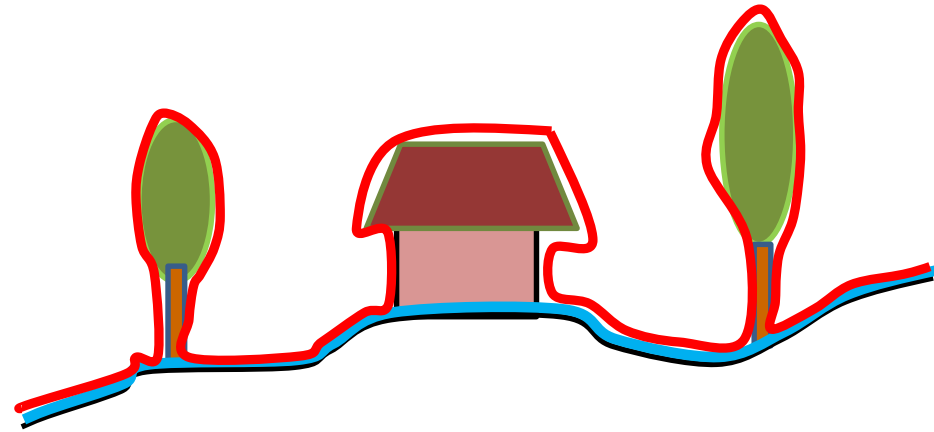
### 3 情報部門の取組(特色あるオープンデータ)

1mメッシュの高精度な3次元地理空間データを全県土分公開予定

- 航空レーザ測量データを加工し、高精度な3次元データを作成  
→G空間情報センターにデータ公開予定(1mメッシュ全県土分は全国初)

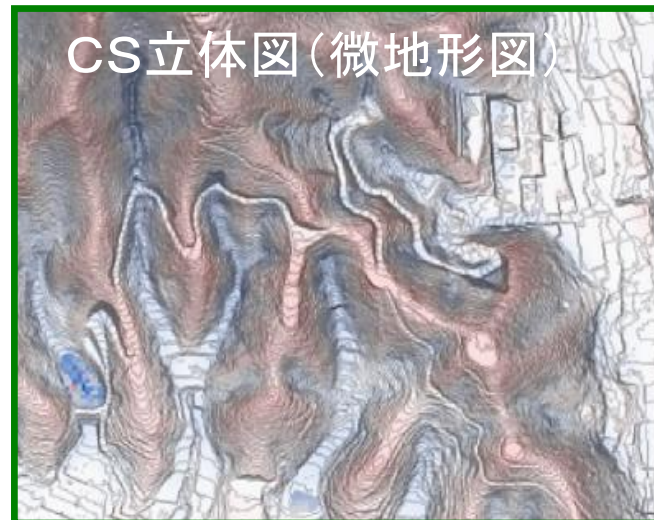
#### 【データの種類】

- ・DSM 建物や樹木を含む3次元データ
- ・DEM 建物や樹木を取り除いた  
地表面の3次元データ



#### ・CS立体図

- 色彩の濃淡により微小な地形の凹凸を表現
- 樹木で覆われた地面の形状や、特異な箇所を判読可能



CS立体図(微地形図)



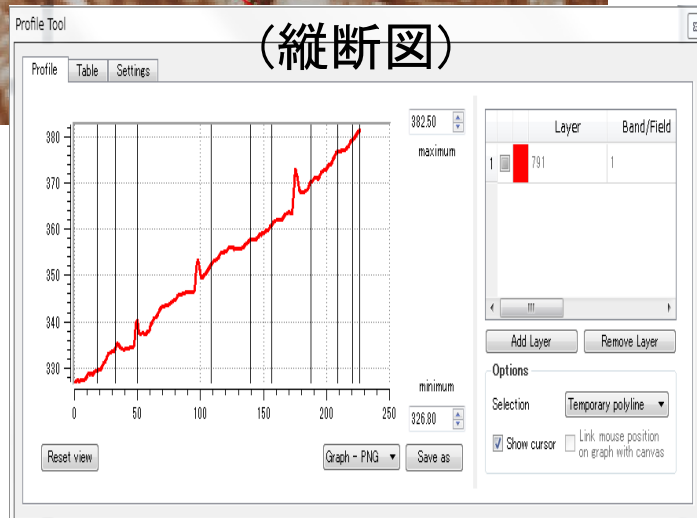
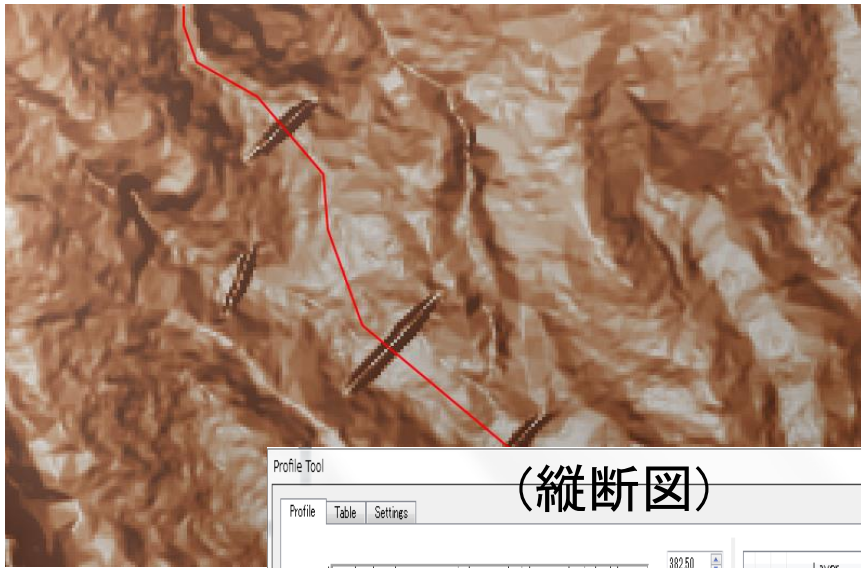
同じ場所の航空写真



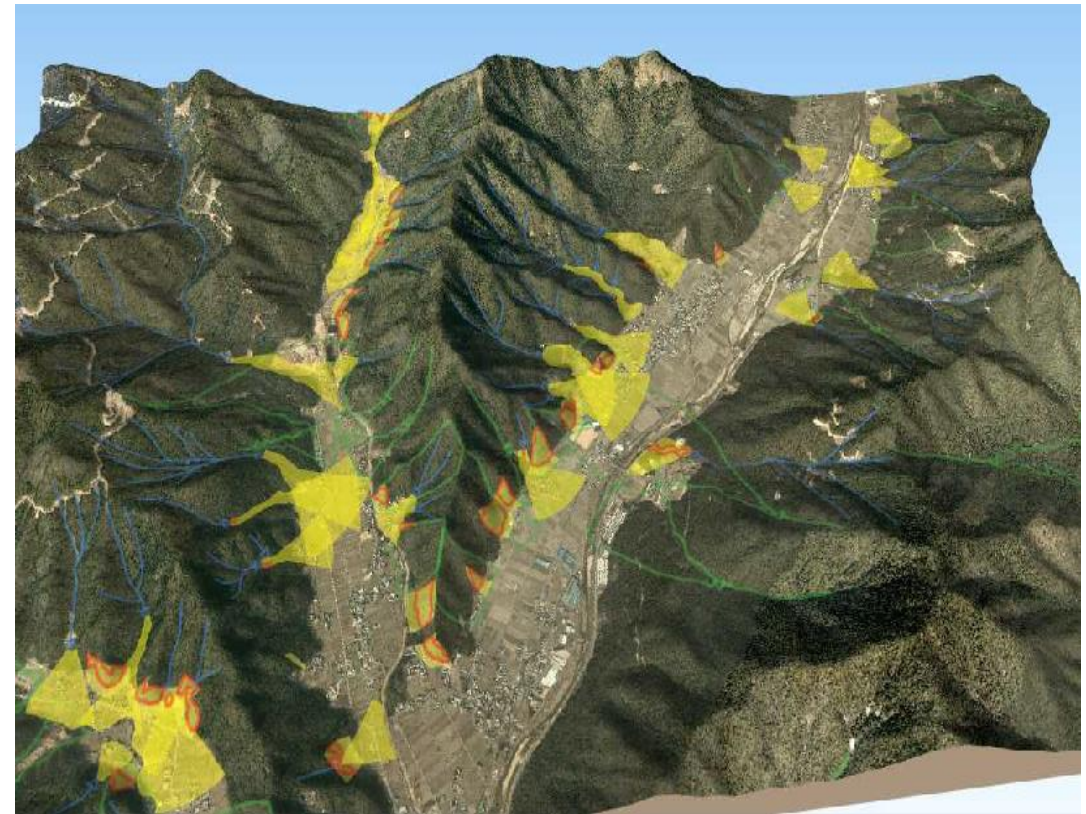
### 3 情報部門の取組(特色あるオープンデータ)

#### 【活用例】

○ソフト上での簡易測量



○3D地図に土砂災害ハザードマップを重ね、急傾斜地等の危険度を見える化



### 3 情報部門の取組(特色あるオープンデータ)

#### 【活用例】

○土砂災害発生範囲の抽出

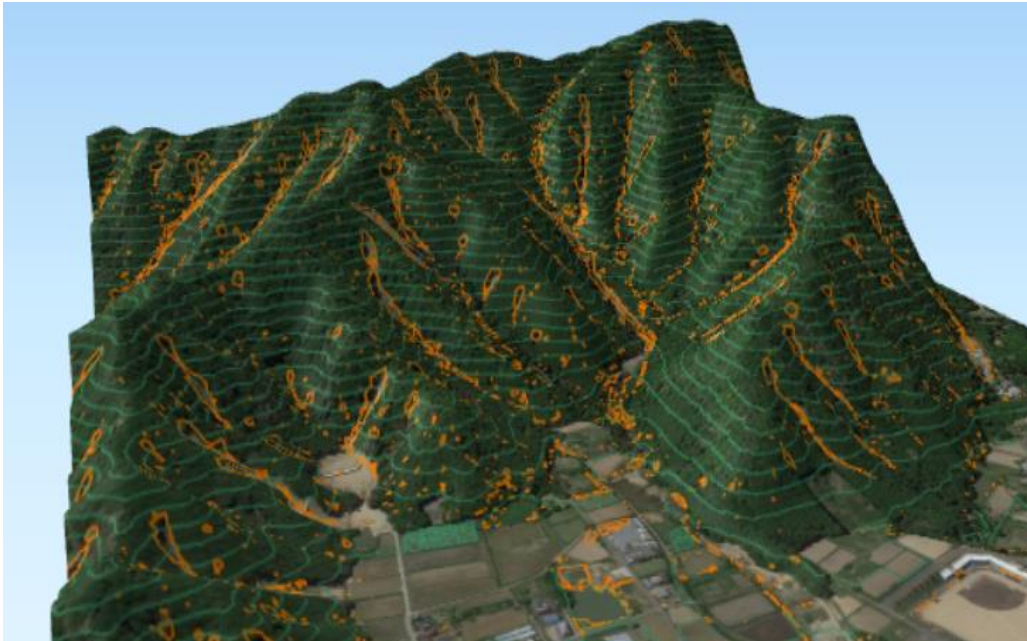
今回作成の3次元データ

×

新規取得データ(ドローンによる取得等)

↓

差分処理



○事業者・研究機関での想定活用例

- ・土木工事、農林業での工事設計支援
- ・高精度3Dマップの作成
- ・登山アプリ(背景地図・標高データ)
- ・ドローン自動航行ルート設定
- ・日照・通信環境のシミュレーション
- ・水脈分析
- ・高精度測位と3Dデータの組み合わせ  
(除雪車の障害物回避走行等)

# まとめ

---

- 県の情報企画課をはじめ、情報部門では、データを活用した課題解決を推進
- 情報部門では、「課題」の把握が難しい積極的に課題を出していただくことで、データの共有化、活用による課題解決が進む
- 目指す先は、「住民の福祉の向上」事業課と情報部門が協力してオープンデータの推進を図りましょう